

	京王百貨店の主な出来事	世の中の移り変わり
1984年 (昭和59年)	●開店20周年 時代に即した改装が行われる この年のスローガンは「リノベーション」。単なるリニューアルではなく、時代のニーズに対応するセンスプレステージストアをめざして、革新的な改装を実施しました。 ●京王パスポートカード発行	・えりまきとかげ大ブーム(1984年)
1986年 (昭和61年)	●聖蹟桜ヶ丘店オープン 新しい街づくりプロジェクトの一環として、京王グループが総力を結集し作り上げた京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターの核店舗として、京王百貨店の2号店をオープンしました。	・バブル景気絶好調(1987年)
1989年 (平成元年)	●「洗練優貨店」をテーマに新宿店を改装 量ではなく質が問われる時代であり、お客様のライフスタイルの変化を重視して、優れたもの、良質なものがあふれる店へと、1991年都庁移転を中心とした新宿西口再開発を背景に、新都心型百貨店としての改装を行いました。	・消費税〈3%〉導入(1989年)
1991年 (平成3年)	●新宿店「ハーモニー」売場のイメージガールに有名女性誌のモデル起用	・都庁移転(1991年)
1993年 (平成5年)	●新宿店食品売場「旬彩小路」オープン 特選品・贈答品がメインであった食品フロアを「改札から39歩」をキャッチフレーズに、毎日の生活に密着した利便性の高い売場へと一新しました。	・Jリーグ発足(1993年)
1994年 (平成6年)	●新宿店開店30周年 店内改装と店舗外周のカーテンウォールを刷新 「駅立地」「中規模店」「顧客構成」の優位性を活かした京王独自の販売戦略と改装により、オンリーワンデパートメントストアをめざす店づくりが始まりました。	
1995年 (平成7年)	●新宿店にウォーキングシューズコーナー設置 婦人靴売場では中高年層のニーズにいち早く応える売場づくりに着手。歩きやすく疲れにくいウォーキングシューズを幅広く揃えて、販売員によるきめ細やかなコンサルティングセールスを行い、現在では日本一の売上高を誇るコーナーへと成長しています。	・パソコンブーム到来(1995年) ・携帯電話大普及(1996年)
1997年 (平成9年)	●新宿店「京王グルメパーク」がグランドオープン 和・洋・中の個性豊かなレストランが勢揃い。カジュアルなランチから本格ディナーまで、とっておきの味わいをゆっくりと楽しめる空間に。夜10時までの夜間営業を始めました。	・消費税〈5%〉引き上げ(1997年)
1998年 (平成10年)	●京王百貨店新宿ビル耐震補強工事完了 他社に先駆け大規模商業施設として初の「耐震改修促進法」(1995年12月施行)の認定を受けました。	・長野冬季五輪開催(1998年)



聖蹟桜ヶ丘店開店の当時の様子



ウォーキングシューズコーナー